

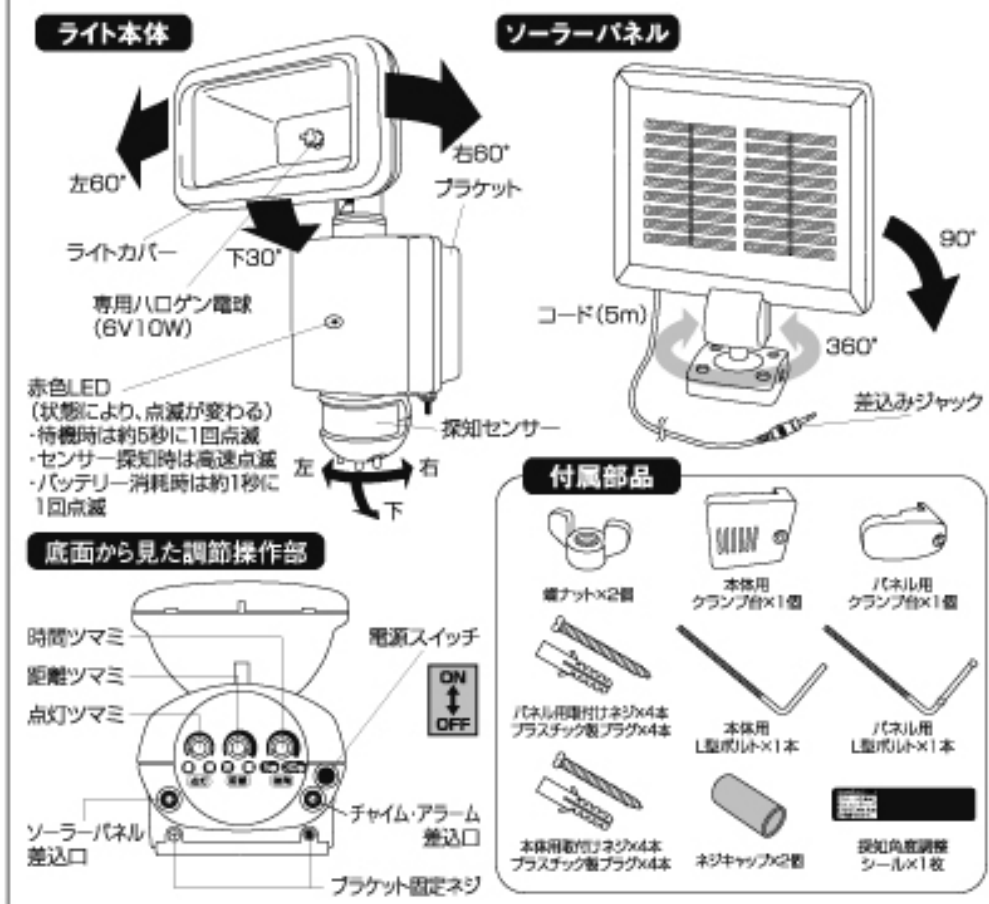
ソーラーセンサーライトNeo

取扱説明書

この度は、PIXON ソーラーセンサーライトNeo PN-100をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

注意 気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間をおいて再度ご確認ください。

1 部位説明



2 仕様

ライト本体			ソーラーパネル	
ライト	種類	ハロゲンランプ 6V 10W	種類	結晶太陽電池
バッテリー	種類	ニッケル水素電池	出力	7V 1.3W
	電圧・容量	6V・1200mAh	サイズ	幅176mm×奥50mm×高さ211mm (クランプ除く)
センサー	探知方式	無電圧赤外線センサー	コード長さ	5m
	探知範囲	水平 約200°・約12m	クランプ取付けサイズ	・厚み/ 最小15mm～最大110mm
切替えスイッチ	本体の動作ON・OFF (電源OFFの状態でも充電可能)			
雨度切替え	昼～夜			
サイズ	幅150mm×奥159mm×高さ240mm (クランプ除く)			
点灯時間	約5秒～約30秒			
本体重量 (クランプ除く)	約610g			
クランプ取付けサイズ	・厚み/最小約15mm～最大約110mm			
	・パイプ径/最小約30mm～最大約85mm			
1日平均点灯回数 ※点灯時間を約30秒にした場合	・春夏秋 平均25回 (満充電時60回)			
	※充電可能な平均日照時間 3時間 (東京)			
チャイムアラーム	チャイム・アラーム出力端子			
	※別売 チャイム・アラームP-10、P-20、P-185対応			
設置場所	屋内・屋外用 (防雨タイプ)			

3 警告

①電球を替える時は

- ・点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対交換しないでください。
- ・電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替えください。



②バッテリーを交換の時は

- ・濡れた手で本体や差し込みジャックに触れないでください。雨などで濡れたときも触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替えください。

③取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。

- ・布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
- ・昼でも本体に物（布巾や布等）を被せると点灯引火する危険があるので絶対にしないでください。



④火傷に注意してください。

- ・点灯中、消灯後も電球・ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。

⑤屋外に取付ける場合は

- ・本機は防雨構造です。通常の雨・風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の雨の降るような所には取付けしないでください。
- ※防雨構造は、IP-44 電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。

⑥屋内・屋外に関係なくライトは斜め向き、下向き、逆さまには絶対に取付けしないでください。

⑦本機を改造しないでください。

⑧電波を出す器具の近くには取付けしないでください。

- ・電波を出す器具や本機が振動する場合があります。

※本機は探知範囲内に侵入する物（人、車等）に対して、注意を受けますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
※製品改良のため、仕様および外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

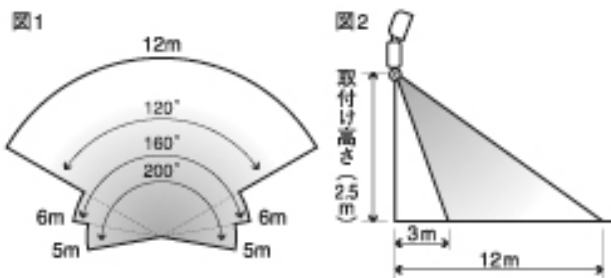
4 センサーライトの探知範囲

センサーは最長約12m×200°の範囲で動く人や車を探知します。

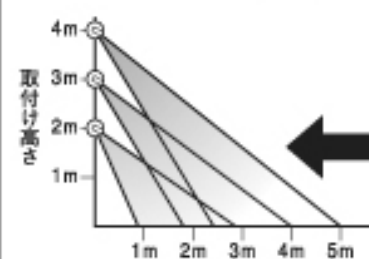
センサーは向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1・図2の条件に合う場所に取付けてください。

焦点型赤外線センサーの探知距離（距離ツマミが②側の時）

■センサーに向かって左右に横切った場合
（敏感に反応します）



■センサーに向かって直進した場合
（探知が鈍い）



※夏場など、周囲の温度が高く、人から出る体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

5 ご使用前にご確認ください

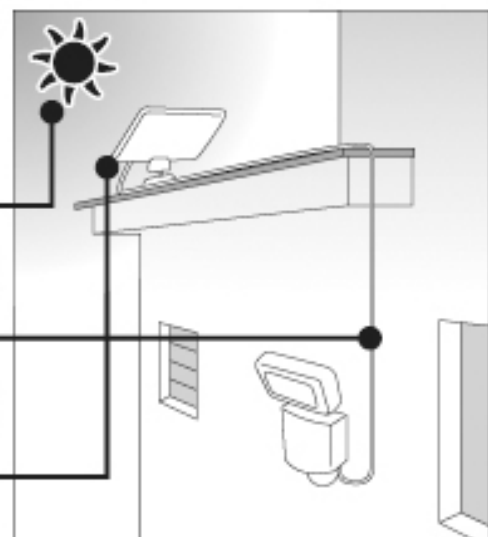
ご使用前に必ず下記の事項をご確認の上、安全にご使用ください。指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

確認チェック ご購入後は充電が不十分です。晴天の日に約2日間充電した後、使用してください。

数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。
※電源スイッチをOFFにして充電してください。
また、ソーラーパネルの差し込みジャックが本体にしっかり差し込まれているか確認してください。

確認チェック ソーラーパネルのコードは5mです
本体との距離を確認の上、取付けてください。

確認チェック ソーラーパネルを正しく取付けてください
※「ソーラーパネルの取付け場所」参照

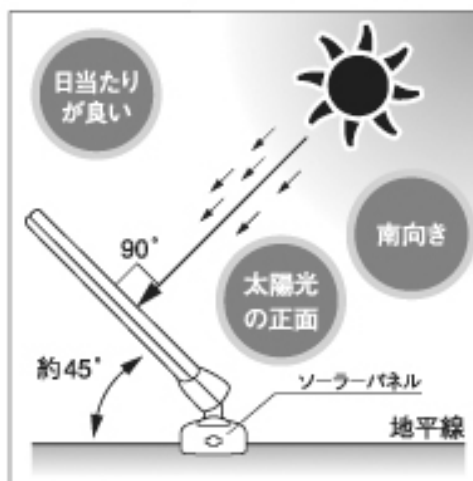


取付けは確実に!

本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。
また、事故を防ぐ為、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。

※「6.ソーラーパネルの取付け方」、「7.センサー本体の取付け方」参照

ソーラーパネルの取付け場所



※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

1 直射日光の当たる南向き

2 地平線の上方向約45°

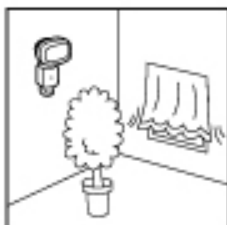
3 日照時間の長い場所

4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所

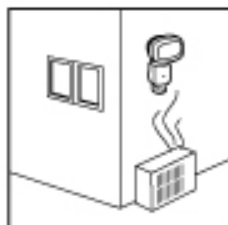
5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節

ライト本体の取付け注意!

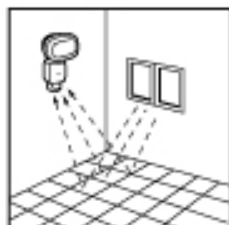
センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所を取付けると、誤動作や動作しないときがあります。



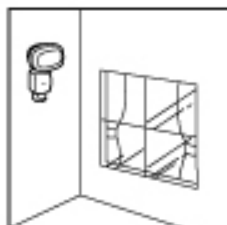
風などでゆれる植物やカーテン等の近く



エアコン等の送風を受ける場所



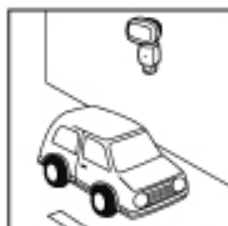
大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所



ガラスや壁ごしの場所



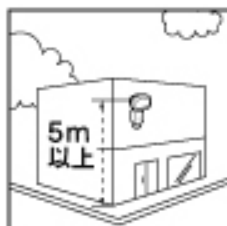
強い振動を受ける場所



車の通る道路に面した場所



電波の強い場所



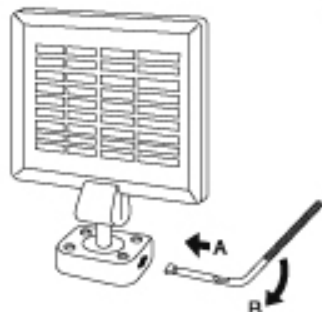
取付け高さが5m以上の場所

6 ソーラーパネルの取付け方

柱やパイプにクランプで取付ける場合

△注意 クランプは、万一落下しても事故の起こらない場所を取付けてください。

L型ボルトをクランプ台に通し、
蝶ナットでしっかり締めます。
ネジキャップをつけてください。



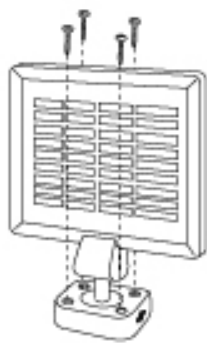
L型ボルトEAの向きに奥まで差し込み、
Bの向きに90°回します。



※柱・パイプをクランプの中央に挟みます。

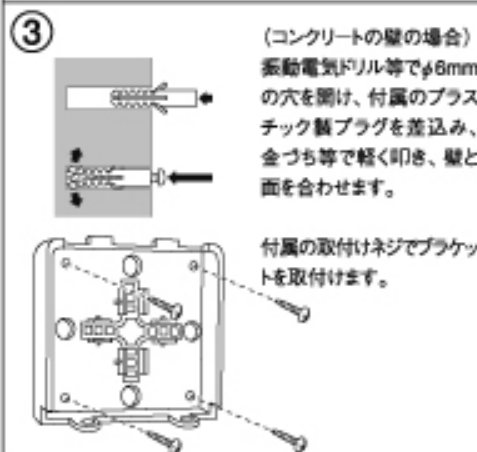
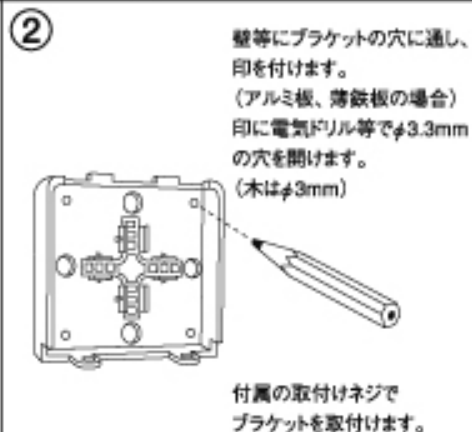
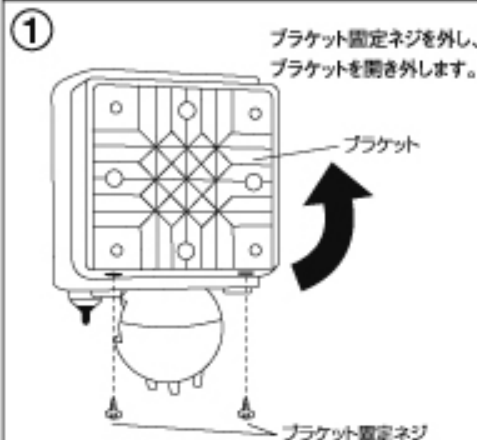
壁に直接取付ける場合

1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル用取付けネジ4本で固定してください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「7.センサー本体の取付け方」と同様です。



7 センサー本体の取付け方

ブラケットで壁に直接の取付け方



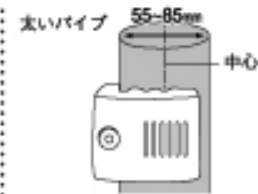
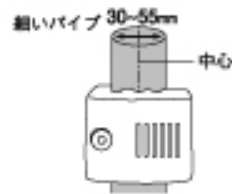
クランプで挟む取付け方

△注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所を取付けてください。

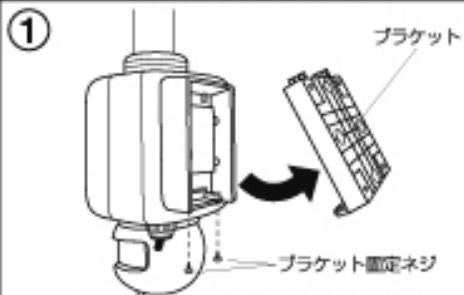
角柱・壁は奥までしっかりと
入れて、挟み込んでください。



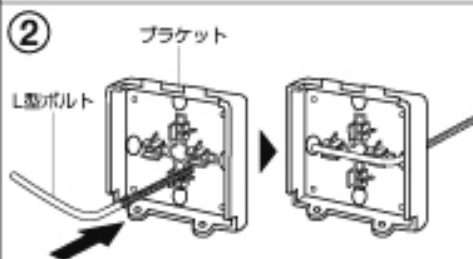
丸柱・パイプは大きさに合わせて
挟む位置を替えてください。



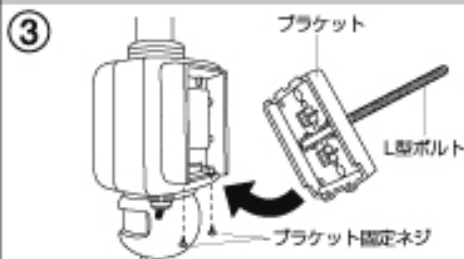
上向きの柱・壁・パイプの場合



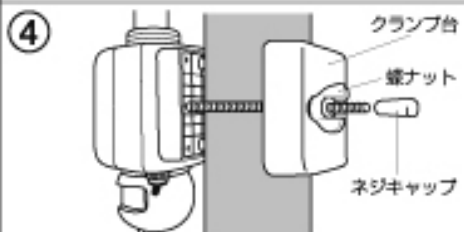
① ブラケット固定ネジをゆるめブラケットを外します。



② ブラケットの内側から回のようにL型ボルトを通します。
(左右どちらの穴でも構いません。)

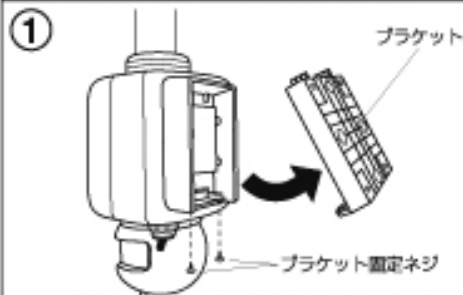


③ L型ボルトがついた状態でブラケットをライト本体に取付け、ブラケット固定ネジをしっかりと締めます。

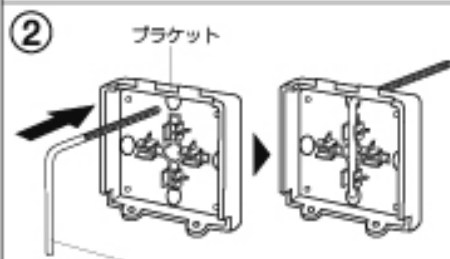


④ L型ボルトを柱、壁、パイプを間にして、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかりと締めます。
付属のネジキャップを取付けてください。

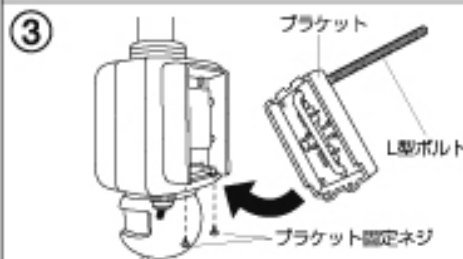
横向きの柱・壁・丸パイプの場合



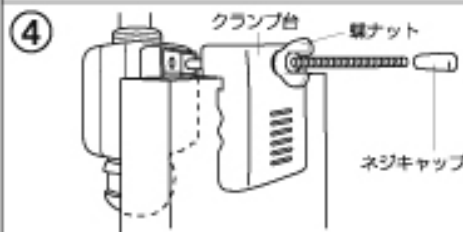
① ブラケット固定ネジをゆるめブラケットを外します。



② ブラケットの内側から回のようにL型ボルトを通します。



③ L型ボルトがついた状態でブラケットをライト本体に取付け、ブラケット固定ネジをしっかりと締めます。



④ L型ボルトを柱、壁、パイプを間にして、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかりと締めます。
付属のネジキャップを取付けてください。

8 センサーの動作テスト

購入後は充電不足なので、充電後にセンサー動作テストをしてください。

- ・点灯ツマミを ① に回す
- ・距離ツマミを ② に回す
- ・時間ツマミを ③ に回す



電源スイッチをONにする

点灯 ▶ 消灯

約5秒後に消灯

センサーの探知範囲に入り、すぐ出る

点灯 ▶ 消灯

約5秒後に消灯

△注意 点灯・消灯しない時は、「14.故障かなと思ったら」を参照してください。

9 センサーの通常動作

昼

消灯

点灯つまみを ① に回す

夜

点灯

探知範囲に入ると点灯

人がいなくなると

消灯

設定した時間後に消灯

10 センサーをお好みのモードに調節

1 時間 タイマー点灯保持時間 約5秒～約30秒

点灯時間の調節は、時間ツマミを図1のように右へ ⑤ (約5秒点灯後) から少しずつ回し、その都度点灯時間を確認し、調節してください。

※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。
※センサーの探知範囲に入り点灯を継続後、すぐに探知範囲外へ出てください。



2 点灯 明かりセンサー

① 昼も夜も点灯・② 暗い時だけに点灯

点灯させる周りの明るさ調節は図2のように点灯ツマミを ①～③ に回すことで、点灯を調節することができます。

※夜でも他の照明の光が当たるときは①側に調節します。
※真昼が実際に点灯させたい明るさの時に調節してください。



3 距離 人感センサー

感度の調節は、距離ツマミを ④ へ回すと弱くなります。(人以外にも動きのある熱源に探知しますので、小さな犬、猫やクーラーの熱、太陽光の変化等に誤作動を少なくしたい時に調節します。また探知距離も短くなります。)

4 センサー探知距離、角度の調整

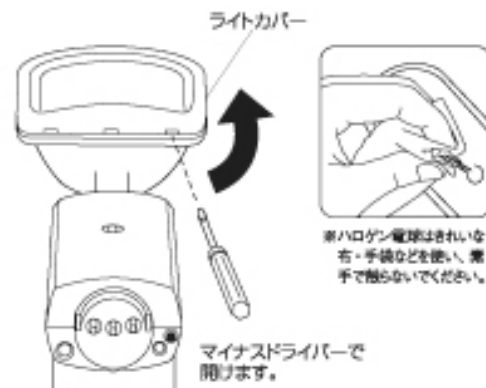
- ・探知したい場所へセンサーを向けてください。
- ・探知角度を狭くしたい時は、付属の探知角度調節シールを図4のようにセンサーレンズ側面に貼ります。
- ・探知距離を短くしたい時はセンサーを下向きにします。



11 部品交換について

ハロゲン電球の交換

1. 電源スイッチをOFFにします。
2. ライトカバーに図のようにマイナスドライバーを差し込み、回すようにして開けます。
3. 古いハロゲン電球を抜き取り、新しいハロゲン電球を取付けます。
4. ライトカバーを本体に取付けます。
5. 電源スイッチをONにします。

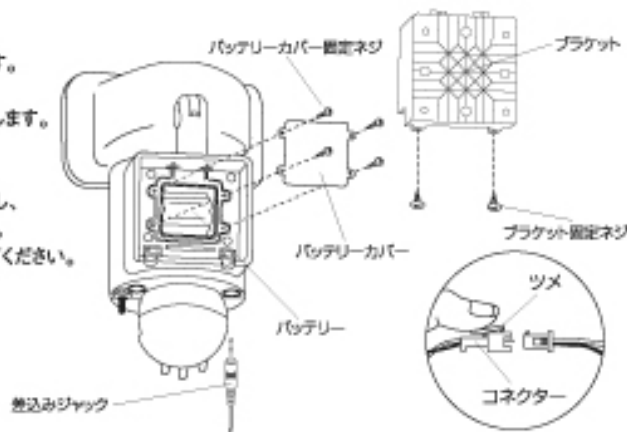


⚠警告

- ・点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対に交換しないでください。
- ・電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替ください。

バッテリーの交換

1. ソーラーパネルの差し込みジャックを抜きます。
2. 電源スイッチをOFFにします。
3. ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを外します。
4. 4本のバッテリーカバー固定ネジを外し、バッテリーカバーを外します。
5. バッテリーを取り出しコネクターのツメを押し、コネクタを外しバッテリーを取り外します。
6. バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。



ハロゲン電球 (6V10W) バッテリー (6V1200mA) のお買い求めについて

ハロゲン電球またはバッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は直接 総プロトにご注文いただければお送り致します。

【品番 PN-101】
替球
(ハロゲン電球 6V10W)



消費税・送料込
¥1,050

【品番 S-62】
替バッテリー
(ニッケル水素 6V1200mA)



消費税・送料込
¥5,000

※但し、代金は前金でお振込み。郵便切手でも結構です。

12 お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。



シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。



ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1~2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。



ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

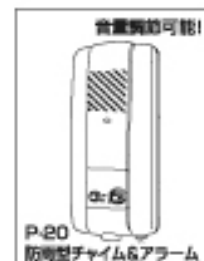


13 チャイム・アラーム (別売)

- (別売) チャイム・アラームを接続すると、本機のセンサーが探知して、自動的にチャイムまたはアラームが鳴ります。
- 用途に応じてチャイムかアラームの2種類の報知音に切り替えられます。
〔・チャイム…爽やかなチャイムが来訪者の接近を知らせます。
・アラーム…アラームが約30秒間鳴り、侵入者を防ぐのに役立ちます。〕
- チャイム・アラームは別回路を設けておりますので、ライトの点灯に関係なく鳴ります。



P-10
チャイム&アラーム



P-20
防犯型チャイム&アラーム

RITEXシリーズ R185チャイム&アラームも使用できます

●取付け方

本体下部にチャイム・アラーム差し込みがあります。キャップを外しチャイム・アラームのプラグを差し込みます。

※10mのコード付きです。コードの延長は勧められません。誤動作の原因になります。



チャイム&アラーム
差し込み口 (キャップ付)



チャイム&アラーム
差し込み口
プラグ

14 故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリーの充電不足	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。 (ソーラーパネルの汚れを拭き取る)
	電源スイッチがOFFの状態になっている。	電源スイッチをONの状態にする。
	ソーラーパネルの差し込みジャックが抜けている。	差し込みジャックをジャック差し込み口に入れる。
	ハロゲン電球を正しく取付けていない。	ハロゲン電球を正しく取付ける。
	ハロゲン電球が切れている。	ハロゲン電球を交換する。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(センター探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
蒸気や雨などの水流がついている。 寒冷地などで霜がマフラーで覆われている。 手袋をしている。	本センサーは人の動きによる温度変化分を感知するため、上記のような状況では感知しにくい場合があります。	
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲 に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯ツマミを④側に点灯するまで回す。
消灯しない	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
昼なのに点灯する 周囲が明るいの	点灯ツマミが④側に調節されている。	点灯ツマミを③側にあわす。
探知範囲に人がいない のに点灯する	探知範囲内に振動作源がある (例)・他の照明器具・エアコンの取出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよくゆれる物 (看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	振動作源を取り除く (左記に該当する物があれば取り除くか 本体を移動する)
	ライトがセンサー部を照らしている。	ライトからセンサーから離す。
探知範囲に人がいるのに 消灯する	時間ツマミが④側に調節されている。	時間(タイマー)経過後、消灯することを確認する。 時間(タイマー)ツマミを③側に調節する。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上感知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭き取る。
	センサー方向がずれている。	探知したい方向に調節する。
点灯回数が少なくなった	曇り・雨・雪の影響による太陽光不足	梅雨の期間は点灯回数が少なくなります。
	バッテリーの寿命	販売店に注文して新しいバッテリーに取替えてください。 (本機のバッテリーは平均500回の充電が可能です)
(別売) チャイム・アラームが人が いないのに反応する	探知範囲内に振動作源がある (例)・他の照明器具・エアコンの取出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよくゆれる物 (看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	振動作源を取り除く (左記に該当する物があれば取り除くか 本体を移動する)